

東北新幹線が全線開業

東京―新青森間3時間20分

井上幹事長ら出席
開業式



東北新幹線の全線開業を喜び合う井上幹事長(前列左から4人目)と党青森県本部の議員ら114日 新青森駅

東北新幹線は4日、八戸(青森県八戸市)―新青森(青森市)間の運行が始まり、全線の開業した。同新幹線の整備を推進してきた公明党の井上義久幹事長は、青森市内で開かれた「東北新幹線全線しゅん功開業式」に来賓として出席。党青森県本部の伊吹信一代表、

開業式で三村申吾県知事は「地域間交流の活性化や、交流人口の飛躍的増大など大きな効果が期待される。このチャンスを最大限に

全線開業により、東京―新青森間は最短で3時間20分に。来年3月には、新型車両のE5系「はやぶさ」が導入され、最短時間はさらに10分縮まる。

本山敬一の両県議や青森市議も出席し、開業を喜び合った。

生かし、元気な青森県を作り上げていきたい」とあいさつ。同新幹線八戸―新青森間は1998年着工。当初は2012年度の開業予定だったが、04年12月、政府・与党が開業の2年前倒しを決定。当時、井上幹事長は与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームの座長代理として、早期開業を推進。ま

た、県議、市議と連携を密にし、地域住民の要望が強かった新青森駅南口への在来線改札口設置も実現させた。この日、同駅構内を視察した井上幹事長は「新幹線の全線開業が北東北活性化の大きな起爆剤になることを期待したい。さらに北海道札幌市への新幹線の延伸に努力していく」と語った。